

平成 29 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名	株 式 会 社 昭 文 社
代 表 者 名	代 表 取 締 役 社 長 黒 田 茂 夫
コ ー ド 番 号	9 4 7 5 東 証 第 一 部
問 合 せ 先	取 締 役 兼 執 行 役 員 管 理 本 部 長 大 野 真 哉
T E L	0 3 - 3 5 5 6 - 8 1 7 1

## 第 59 期(平成 30 年 3 月期)第 1 四半期報告書の提出、過年度の有価証券報告書等の 訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 8 月 14 日付「平成 30 年 3 月期第 1 四半期報告書の提出期限延長申請に係る承認に関するお知らせ」に記載の通り、平成 29 年 9 月 13 日を期限として、第 59 期第 1 四半期報告書の提出期限延長の承認を受けておりましたが、本日、当該四半期報告書を提出いたしますのでお知らせいたします。

また、平成 29 年 8 月 9 日付「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明及び平成 30 年 3 月期第 1 四半期決算発表の延期に関するお知らせ」および平成 29 年 8 月 10 日付「平成 30 年 3 月期第 1 四半期報告書の提出期限延長に係る承認申請書提出に関するお知らせ」に記載のとおり、過年度に提出いたしました下記の有価証券報告書及び四半期報告書の訂正が必要となったため、訂正報告書をあわせて提出するとともに、過年度に開示いたしました下記の決算短信及び四半期決算短信についても訂正いたしますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本日提出した訂正報告書及び訂正を行った決算短信等

##### (1) 訂正報告書

訂正有価証券報告書	第 56 期 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)
訂正四半期報告書	第 57 期 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日)
訂正四半期報告書	第 57 期 (平成 27 年 7 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)
訂正四半期報告書	第 57 期 (平成 27 年 10 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)
訂正有価証券報告書	第 57 期 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)
訂正四半期報告書	第 58 期 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)
訂正四半期報告書	第 58 期 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)
訂正四半期報告書	第 58 期 (平成 28 年 10 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)
訂正有価証券報告書	第 58 期 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

## (2) 訂正を行った決算短信等

平成 27 年 3 月期	決算短信〔日本基準〕（連結）
平成 28 年 3 月期	第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）
平成 28 年 3 月期	第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）
平成 28 年 3 月期	第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）
平成 28 年 3 月期	決算短信〔日本基準〕（連結）
平成 29 年 3 月期	第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）
平成 29 年 3 月期	第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）
平成 29 年 3 月期	第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）
平成 29 年 3 月期	決算短信〔日本基準〕（連結）

## 2. 訂正の経緯及び理由

当社では、従来税効果会計においては繰延税金資産については全額否認、繰延税金負債のみ計上してまいりました。その様な中、平成 27 年 3 月期期末決算において土地等の減損処理に伴う税効果会計において、減損に伴い発生する将来減算一時差異についても全額否認となるため、繰延税金資産は計上しませんでした。当時減損対象となった土地の中に、以前合併に伴い繰延税金負債を計上していた土地が含まれており、正しくはその繰延税金負債を取り崩すべきところ、取り崩さないまま計上しておりました。

## 3. 訂正の内容

上記理由に伴う誤謬を訂正すべく、平成 27 年 3 月期期末決算において減損処理を行った当該土地に対して計上されていた繰延税金負債を取崩いたします。これに伴い法人税等調整額の金額が 460 百万円増加し、当期純損失が同額減少するとともに、利益剰余金が増加いたします。また翌期である平成 28 年 3 月期の四半期決算、期末決算におきましても、税効果会計における法人税等の税率変更にともない、法人税等調整額が四半期決算において 0 百万円、期末決算において 24 百万円減少し、当期純利益及び利益剰余金が同額減少いたします。（四半期決算においては、当期純損失が増加、利益剰余金が減少）平成 29 年 3 月期の四半期決算、期末決算におきましては、損益に関する訂正はありませんが、上記訂正に伴い繰延税金負債が減少した分、利益剰余金が増加いたします。

各決算期における影響額については、「(別紙)訂正による過年度業績への影響」を参照ください。

以上

(別紙)訂正による過年度業績への影響

(単位:百万円)

期	項目	連結			個別		
		訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額
第56期 平成27年3月期	売上高	12,395	12,395	-	11,125	11,125	-
	営業利益	-934	-934	-	-1,144	-1,144	-
	経常利益	-887	-887	-	-1,110	-1,110	-
	当期純利益	-7,042	-6,582	460	-6,763	-6,303	460
	純資産	21,978	22,438	460	21,390	21,850	460
	総資産	28,328	28,328	-	27,223	27,223	-
第57期 平成28年3月期 第1四半期	売上高	3,318	3,318	-			-
	営業利益	-173	-173	-			-
	経常利益	-159	-159	-			-
	当期純利益	-178	-179	0			-
	純資産	21,521	21,980	459			-
	総資産	27,873	27,873	-			-
第57期 平成28年3月期 第2四半期	売上高	6,030	6,030	-			-
	営業利益	-449	-449	-			-
	経常利益	-426	-426	-			-
	当期純利益	-443	-444	0			-
	純資産	21,145	21,605	459			-
	総資産	26,822	26,822	-			-
第57期 平成28年3月期 第3四半期	売上高	8,596	8,596	-			-
	営業利益	-464	-464	-			-
	経常利益	-425	-425	-			-
	当期純利益	-453	-453	0			-
	純資産	21,119	21,579	459			-
	総資産	26,858	26,858	-			-
第57期 平成28年3月期	売上高	13,035	13,035	-	12,218	12,218	-
	営業利益	306	306	-	212	212	-
	経常利益	363	363	-	252	252	-
	当期純利益	538	513	-24	446	421	-24
	純資産	21,652	22,088	435	21,203	21,639	435
	総資産	28,063	28,063	-	27,234	27,234	-
第58期 平成29年3月期 第1四半期	売上高	2,297	2,297	-			-
	営業利益	-521	-521	-			-
	経常利益	-496	-496	-			-
	当期純利益	-500	-500	-			-
	純資産	20,738	21,173	435			-
	総資産	26,583	26,583	-			-
第58期 平成29年3月期 第2四半期	売上高	4,750	4,750	-			-
	営業利益	-1,000	-1,000	-			-
	経常利益	-959	-959	-			-
	当期純利益	-963	-963	-			-
	純資産	20,316	20,751	435			-
	総資産	25,580	25,580	-			-
第58期 平成29年3月期 第3四半期	売上高	7,032	7,032	-			-
	営業利益	-1,249	-1,249	-			-
	経常利益	-1,190	-1,190	-			-
	当期純利益	-1,194	-1,194	-			-
	純資産	20,292	20,727	435			-
	総資産	25,653	25,653	-			-
第58期 平成29年3月期	売上高	10,314	10,314	-	9,681	9,681	-
	営業利益	-2,276	-2,276	-	-2,051	-2,051	-
	経常利益	-2,206	-2,206	-	-1,994	-1,994	-
	当期純利益	-3,423	-3,423	-	-3,225	-3,225	-
	純資産	19,160	19,596	435	18,730	19,165	435
	総資産	24,550	24,550	-	23,669	23,669	-